



由良町

みんなは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭 2014.8.1
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226

NO. 103

夏本番!! (白崎小プール)



平成26年 6月定例会 6月10日～17日

**はじめの「住民参加型
直営施工事業委託」実施**

**平成26年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ970万円を追加
総額38億2970万円に**

平成26年6月定例会は、6月10日から17日まで8日間の会期で開きました。今回の定例会では、専決処分7件、繰越明許費繰越計算書報告4件。補正予算の主なものは、三尾川地区の住民参加型直営施工事業委託料などです。報告・議案については、審議の結果すべて原案通り可決・承認しました。また、一般質問は5名の議員が登壇しました。

報告第1号 税条例等の一部改正

軽四トラックの増税は？

農漁業者等に配慮されている

問 国の地方税法の改正で仕方ないと思うが、町の基幹産業である農業、漁業者等は軽トラが必要不可欠です。出来るだけ税を上げない方向で国に働きかけて欲しい。また改正によって軽自動車税の税収は？

答 (事務課長) 今回の改正は、30年ぶりです。自動車税の上げ幅は、普通車は1.5倍で、軽四トラックは1.25倍となり、農漁業者等に配慮されています。また、町税の増収としては100万円ほどを見込んでいます。



問 低所得者に係る軽減措置の拡充により軽減される世帯が増加すると思うが、5割軽減、2割軽減の件数は？また、限度額は？

答 (事務課長) 2割軽減の世帯は1555件で、5割軽減が1666件です。また、国保税の年間最高限度額は、77万円から81万円になります。国民健康保険は、市町村で運営され、財政的にも大変厳しい状況になってきていると思います。相互扶助の観点からも多くの人数で支えます。

報告第2号 国民健康保険税条例 の一部改正

最高限度額の引上げで件数は？

1件増の19件に

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。



年に一度は健診を

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

問 住民参加型直営施工事業委託料420万円、測量調査設計委託料330万円、小規模土地改良工事の130万円について、その内容は？

答 (町土整備班長) 住民参加型の委託料については、三尾川地区内の農道舗装とパイプライン設置工事で地元団体へ委託します。小規模土地改良工事は三尾川パイプライン設置工事、衣奈地内の法花寺池管理道路整備工事です。



衣奈クリーンセンター完成間近

問 管理費で、水質分析業務委託は、どのような基準で行っているのか？

答 (上下水道工務班長) 水質に関しては、処理場の放流水で、検査をしています。基準の法令は水質汚濁防止法等に則って、その基準以下の数値かどうかを判断しています。

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

問 町全体の消防団として、若い方の消防団への加入はどうなっているのか？

答 (総務政策課長) 毎年数名ですが、入れ替わりで入団して頂いています。

「懲罰特別委員会委員長報告」

平成26年「6月定例会」において、懲罰特別委員会に付託され継続審査となっている「由良守生議員に対する再懲罰」について報告します。

由良議員の一般質問(風力発電による健康被害について)は、過去連続9回にわたって何度も同じ質問をし、また、町執行部も同じ答弁を繰り返す状態が続くのは「スムーズな議会運営を妨げている」と問題提起がありました。

議会運営委員会として左記のことについて、十分調査・研究・実証して質問を行うよう再三にわたって要望してきました。

①被害と言われる具体的な状況や実態、その根拠を客観的に証明すること。
②新たな状況の変化などを明らかにすること。
③被害と言われている状況と風力発電所との因果関係を明確に客観的に実証すること。

しかし、結果、改善されなかったため、「由良町議会会議規則第56条の第1項」の「議長は、必要があるとき認めるとき、あらかじめ発言時間の制限をすることができる」とを適用し、指摘された項目については、登壇時の質問時間の制限を行うことを本会議において決定しました。

その後、由良議員は、確信的行為で質問時間を守らなかったため、地方自治法第129条第1項の「議場の秩序維持」及び由良町議会会議規則第109条「議長の秩序保持権」に違反。

懲罰特別委員会は、慎重に協議を重ねた結果、「公開の議場における陳謝」とする事に決定し、本会議にて全会一致で議決。

「陳謝文」を公開の議場で読み上げることが議長は求め、由良議員は登壇しましたが、陳謝文を朗読しなかったため、議長は、朗読する意思を4度確認し、4度目に「拒否したとみなします」と宣言。

全会一致で再懲罰に決定

結果、朗読を拒否したため、全会一致で「再懲罰」となり、懲罰特別委員会において、閉会中の継続審査になりました。

その後、懲罰特別委員会は、由良議員に特別委員会へ出席を要請し、本人の意見や気持ち再度聞き弁明の機会を設けました。

委員会に出席した由良議員に対して再懲罰に至った経緯説明を行い、再懲罰に科すことの理解を求め、「懲罰特別委員会の決定に従う事」の確認を求めました。

委員会において、慎重に審査した結果、今回の由良守生君に対する再懲罰は、再度「公開の議場における陳謝」を科すことに決定。

6月定例会開会初日、再懲罰について、「公開の議場における陳謝」の懲罰を科すことに賛成多数で可決し、可決後、地方自治法第134条第1項に基づき、議会議決を経た、「陳謝文」を公開の議場で読み上げることが議長は求めました。

陳謝文一部朗読せず、再々懲罰を科すことに決定

由良議員は登壇しましたが、全文朗読に応じなかったため、「朗読を拒否した」とみなし、再々懲罰を本会議で諮った結果、賛成多数で継続審査にすることを決定しました。

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は5名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

49名中、20名が町外の中学校へ!!

事実を重く受けとめている



藤田 富三 議員

問 中学校教育について質問させていただきます。この件は、私にも責任の一端が有るものと認識した上で質問します。平成25年度、町内小学校卒業児童49名中20名が町外へ進学している事は、由良中学校へ入学したくない生徒が20人いる。この結果を教育長としてどの様に受け止めておられるのか?3月定例会で、山名議員の質問にお答えになっていないが、「進学を希望する学校になつていない」という事実については重く受け止めていないと伺います。具体的な今後の方針は?

答 (教育長) 教育とは、当然、教育基本法、学校教育法に則って行うことを前提としています。町内小学校から由良中学校への入学にかかる具体的な方針については、毎年度小学校卒業生の10名前後は地元由良中学校ではなく、県立日高附属中などの中学校へ進学を希望しています。25年度は20名の児童が他の中学校へ進学することにいたしました。この件については、3月定例会において、山名議員の質問に対して、議員もご指摘のように私は「由良中学校が由良の全ての子どもたちが進学を希望する学校ではなかった」という事実を重く受け止めて、町内中学校とも連携を図りながら魅力ある学校づくりに向けて、学校関係者とともに努力をしていきたいと考えています。「ご答えをさせていただきました。今もその考えには変化はありません。」

議員ご指摘のように、生徒と教師、そして生徒と生徒が互いに信頼しあい温かい学級集団の中で全ての生徒が生きていき活動し、確かな学力、豊かな心、健康な身体を育てていく取り組みを根気強く継続していき、もちろん、部活動の活性化、基本的な生活習慣や生活規律の確立、いじめ問題行動の防止、生徒指導の充実などの取り組みも大切で、学校や教育委員会だけの取り組みでは限界があります。より充実したものにするには、家庭、地域の協力と支援、関係機関等との連携が不可欠であり、地域が一体となった地域ぐるみの取り組みも求められていると思っております。

どうなる由良町? 人口減少問題

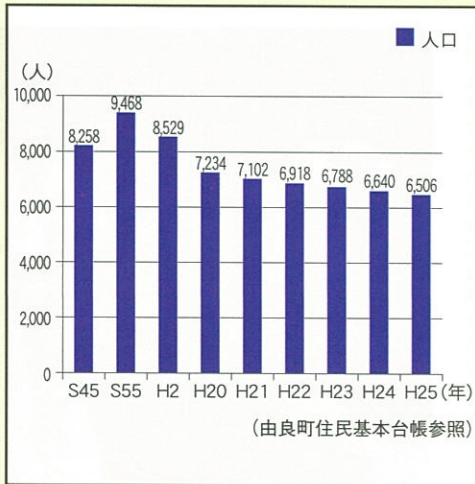
住民の定住化を図っていく



山名 実 議員

問 日本創成会議・人口減少問題検討分科会が、2040年には出生に適した年齢の20歳から39歳の女性の人口が全国で5割以上減り、和歌山県も50%以上減少すると発表しました。日高地方では、由良町が最も高い減少率となっているが、具体的な施策は?

答 (町長) 日本創成会議・人口減少問題検討分科会の発表は、あまり悲観することはないが、冷静に受けとめる必要があります。いつまでも住み続けたいと言ってもらえるような町づくりのために、各種の施策をしていきたいと考えており、町民のニーズに対応していくためには、地理的な条件等もあり、厳しい状況を克服しながら住民の定住化等を図って、実行していきたいと考えています。



問 空き家改修補助金の利用や、町有地の有効利用で移住してもらおうとか、婚活イベントを由良町で起こってはどうか?

答 (町長) 町有地を利用して定住化は当然の考えと思っております。また、提案された空き家改修補助金の利用や婚活等については、要望という形で受けとめさせていただきます。

問 若い子を呼び込まない限り、人口は減っていく、これまで以上に、若者定住対策に真剣に取り組んでいただきたい。

答 (町長) 要請、提言等については、十分真摯に受け止めてさせていただきます。

国土強靱化と由良町について

危機意識を持ち、積極的に啓発



馬場 博文 議員

問 由良町の防災対策は、衣奈海岸整備事業や前田川河川改修事業、由良港湾防波堤事業、高潮対策や避難道路整備、Jアラート、ゆらごも園の高台移転など取り組んでおられるが、今後、国土強靱化の法律が制定された今、一気に進めていきたいが町長の考えは?

答 (町長) かけがえのない国民の生命と財産を守って日本を強くしなやかな国にする事が、国土強靱化の目的です。そのためには、防災・減災対策を万全にして、災害時には迅速な復旧復興を行うことです。当町においては防災に対して、地域住民、自主防災組織、消防団等が連携を図り、更に一人ひとりが危機意識を持ち、人任せではなく、自分の命は自分で守るよう積極的に啓発してまいります。ハード面では減災対策として、由良港湾の神谷から日高町の柏区にかけての防波堤の新設が採択され実施予定です。津波対策にも減災が十分機能するように予定しています。

また、衣奈、戸津井、大引漁港の耐震、対津波機能の診断を行った所です。土砂災害、洪水等地域全体の安全・安心を守っていく。災害時の救助、救援、復旧、復興、これらをいかに早くするかが大事で、県下の防災にも積極的に貢献をしたいと思っております。また、国道42号線の水越峠についても危機感ももっています。何らかの対策を立ててもらえるように要望・要請活動をしていきたい。議会の皆さんの協力を得ながら、42号線・県道・町道の接続インフラ整備、道路網としての整備をしていきたい。その節には要請活動にご尽力をいただきたい。

問 町長の公約、「ふるさとに誇りと活力を」の実現に向けて、今後の取り組みはどのようですか?

答 (町長) 課題については、人口の減少の歯止めです。若い人たちが、いかに由良町で定住してもらえるのか。限られた財源の中で色々なものを駆使しながら、できるだけ皆さんの力をお借りしながら取り組んでいきたい。

残された任期、全力で取り組んでいきます。

災害用備品の備蓄状況は?

必要な資機材を貸与している



川出 純 議員

問 各地域の自主防災会が、活発に活動されていると思います。特に、その中で防災用の備蓄(資機材等や食料)が重要な役割となっています。自主防災会の備蓄状況をお聞きしたい。

答 (町長) 自主防災会へ貸与している資機材については、トランシーバー、ライフジャケット、ラジオ、非常用の飲料水袋など、それぞれの自主防災会が必要な資機材や備蓄資材を貸与しています。



「ゆらごも園」の備蓄について

指定管理者を募集しています

問 こども園の運営については、指定管理という方法もありますが、現在の保育の向上を考えれば、臨時職員を計画的に正規職員にすることが大切だと考えます。

答 (町長) 「ゆらごも園」の運営にすることを決め、現在、指定管理者を募集しています。また、指定管理者に対して、募集要項中の管理業務仕様書に現在雇用されている臨時職員を積極的な採用に努めることを明示しています。

風力発電から発する低周波音による健康被害について

保健師、保健所に相談して下さい



由良 守生 議員

問 日弁連が環境省などへ「低周波音被害について医学的な調査、研究と十分な規制基準を求める意見書」を提出しています。もう一度、日弁連の意見書に付いて、由良町の見解を求めます。私たちが汐見文隆医師の低周波音測定機NA18Aで測定すると1Hz、2Hz付近で激しい変動を繰り返す低周波音が観測されます。卓越周期、特異なピークがあって、これが被害の原因であるらしいの、事業者は、なぜ測定して表示しないのか。事業者被害者が測定したものと、風力事業者が行ったものと、なぜ、こうも違うのか。環境影響の評価を第三者ではなく、当事業実施者が行うという茶番劇ではないか。まさに利益共同体です。

長年、由良町に住んできた人たちが、風力発電の被害にあつて苦しんでいます。その訴えが信じられません。アンケートを探るとか、聞き取り調査をするが、具体的な行動はとれません。風車が回るまでは何ともなかった、ということも、みんな知っています。被害者の人権について、どう思いますか。

答 (町長) 日弁連の意見書が出てから、新たな対応と言ふことではなしに、すでに県において、平成23年から低周波音についての環境基準等を定めるよう国に要請しています。アンケートについては、実施する考えはありません。体調不良を訴える町民は、今まで同様に町の保健師とか、御坊保健所と連携しながら相談等に対応してまいります。

人権については、人権擁護委員等に相談して下さい。低周波音の測定は、計量証明事業者が法に基づいて行っています。会社等が測定したものを信じるを得ません。風力に絡んでの苦情等があれば、区と事業者が協定を結んでいるので、そこへ訴えて、事業者と協議してください。協議が整わなければ、町が立会人として斡旋、指導、助言を致します。

(他の質問) ◎門前地区の国道に信号機設置を。

産建厚生常任委員会

老人ホーム視察



日高博愛園

食事前の嚥下体操



ゆら博愛園

ユニットケアの説明



看護老人ホームときわ寮

お風呂で気持ちよく



ゆら博愛園

車イスでもスムーズに

町単工事視察



水路に蓋を(江ノ駒地内)



排水路の改修を(横浜地内)



水路敷が傷んでいます(三尾川地内)



大谷川の護岸改修を(阿戸地内)

総務文教常任委員会視察

町内小・中学校訪問



白崎小学校

上手に縫えるかな?



衣奈小学校

ランチルームで給食を



由良小学校

授業に集中!!



由良中学校

教育実習の一コマ

編集後記

夏本番!! まずは皆様、熱中症対策をして乗り切ってください。
汗をかかなくても、知らず知らず身体水分は蒸発しています。
お茶、珈琲、紅茶などは、利尿作用が働き水分が出てしまいます。特に、スポーツやウォーキングなどの運動中、カフェインの摂り過ぎに注意

議会広報編集委員会
委員長 吉田ひとみ
副委員長 川出 純
由良 守生
山名 実
中村 森
玉置 一郎

するとともに、こまめに水分補給することが大切です。
夏は、寒いより暑いのが本来の姿。
健康第一でお過ごし下さい。(玉)

**防災グッズを
持って避難場所へ!**

みなさん、家族ぐるみで一度、避難する場所へ行ってみませんか?
集合時間を決めて、防災グッズを持って避難場所へ集合。
その後、反省会を開き、みんなで話し合ってみてはいかがでしょうか?
避難訓練をして分かる事が多いはずですよ。
阪神大震災の被災者にアンケートを行い、実際に役立つもののランキング上位20位は、

- ①懐中電灯
- ②食料品
- ③ラップ
- ④ビニール袋
- ⑤小型ラジオ
- ⑥トイレット
- ⑦乾電池
- ⑧ウエットティッシュ
- ⑨軍手
- ⑩小銭
- ⑪使い捨てカイロ
- ⑫カセットコンロ
- ⑬下着
- ⑭常備薬
- ⑮紙コップ
- ⑯飲料水
- ⑰アルミ箔
- ⑱紙皿
- ⑲生理用品
- ⑳帽子

となつています。
皆さん、必要な防災グッズを参考にして下さい。
是非度、防災グッズを持って避難行動体験を!!

